

# 輝け！天神山っ子Ⅱ

Ⓟ



令和5年10月18日(水)

コミュニティスクール春日市立天神山小学校

NO20

校長 月原 浩

令和5年度 CS 春日市立天神山小学校 重点目標

「仲間」とつくる 素敵な1日

～気づき・考え・行動する～

## 後期の重点②

こうきのじゅうてん

「いしきか」 から 「ぐたいか」 へ

がんばること 3つ

- ① すてきな1日になるために、とんとん こうどう
- ② サイレントにゆうじょうをめざして！！
- ③ がくしゅうの まとめを じぶんで かく

先週号でお伝えした後期の重点についての続きです。③の学習のまとめを自分で書くについてです。10月の学校だよりでもお伝えしましたように福岡県と全国の学力テストの結果、天神山小学校は、「記述式」の問題に課題があることがわかりました。この力はすぐに身に付くものではありませんが、日々の学習で少しずつ取り組んでいけば必ず身

に付いていく力だと私は思います。そこで私は、基本の形を子どもたちに話しました。

書くまとまりは、3つ。1つ目は、この学習で、わかったこと、できるようになったこと。これは教師の授業評価にもつながります。この時間に習得させるべき内容を子どもたちがきちんとつかんでいるかをみとることができます。

2つ目は、なぜ、わかるように・できるようになったのか理由を書く。例えば、自分があきらめずくり返し頑張ったから、友達や先生あの発言のおかげでとか、教科書や資料から、などです。これは学び方の習得につながり、自分が何か学びたいときの方法になります。

3つ目は、全体を通して、自分が思ったことや考えたことを書く。

学習内容によっては、書きにくい時もありますが、あくまでも基本の型です。この型は、実は求められている書いたり話したりする姿なのです。まず、自分の立場を明確にする。例えば賛成や反対などです。次に、その理由。根拠も示しながら。最後に、自分はどう思うのか。

毎時間の学習のまとめを自分で書くことを通して、生きてはたらく力を身に付けることができたらと考えています。

これも先週号でお伝えした②サイレント入場を目指してと同じです。初めは、指導が必要です。型を教え、初めは、穴埋めでもいいです。次にキーワードを出し、それを使ってまとめさせる。最後に、子どもたち自身で書けるようにする。私も1年生を2回担任したことがあります。自分でめあてを考え、書くこともできていました。1年生でもできるようになります。天神山っ子が、自分でまとめを書き、表現力が高まることを願っています。